

化学

Chemistry

教授	高橋 康丈	Yasutake Takahashi
准教授	杉森 保	Tamotsu Sugimori
助教	角田 広子	Hiroko Kakuda

◆ 研究概要

高橋康丈：有機および生物有機光化学反応の中間体に関する研究。

杉森 保：フェニル誘導体の導入を基盤とする新規機能性フタロシアニン錯体の合成とその応用。

角田広子：超原子価ヨウ素化合物による分子内アミノ環化反応の開発とその応用。

◆ 学会報告

- 1) Nakano T., Kakuda H., Shinoda H.: Role of peroxy hemin (Fe(III)-OO \cdot) in the formations of azine and μ -peroxide from MBTH in the aqueous system of Fe(III)TMPyP-MBTH-O₂ at pH7.0 (INOR 780). The 237th ACS National Meeting, 2009, 8, Washington DC, USA.
- 2) 池上崇久, 倉橋悟志, 杉森 保, 中村幹夫, 半田 真: コロラジン金属錯体の合成と磁気的性質. 日本化学会第 89 回春季年会, 2009, 4, 船橋. (#2PA-110)
- 3) 木村祐子, 池上崇久, 石田英晃, 杉森 保, 御厨正博, 半田 真: カルボン酸イオンとジフェニルホルムアミジナートイオンを分子内架橋配位子とするランタン型ルテニウム (II, III) 二核錯体の合成と性質. 日本化学会第 89 回春季年会, 2009, 4, 船橋市. (#2PA-124)
- 4) 木村祐子, 池上崇久, 吉岡大輔, 石田英晃, 杉森 保, 御厨正博, 半田 真: ジフェニルホルムアミジナートイオンを架橋配位子とするランタン型ルテニウム (II, III) 二核錯体の合成と性質. 第 59 回錯体化学討論会, 2009, 9, 長崎. (#1Ab-03)
- 5) 池上崇久, 倉橋悟志, 中村幹夫, 杉森 保, 御厨正博, 半田 真: ポルフィラジンとコロラジン金属錯体の合成と磁気的性質. 第 59 回錯体化学討論会, 2009, 9, 長崎. (#1Ab-04)
- 6) 砂金宏明, 加賀屋豊, 藤田晴美, 尾山洋一, 杉森 保: 水溶性アンチモン (V) - フタロシアニン錯体の合成と性質. 第 59 回錯体化学討論会, 2009, 9, 長崎. (#1Aa-06)
- 7) 岡城 徹, 杉森 保, 池上崇久, 半田 真, 角田広子, 高橋康丈: 酸化還元活性な周辺置換基を持つフタロシアニン金属錯体の合成. 第 59 回錯体化学討論会, 2009, 9, 長崎市. (#2PA-035)
- 8) 深堀俊郎, 信国晃彦, 池上崇久, 広光一郎, 杉森 保, 半田 真: 拡張された π 共役を有するフタロシアニン-シッフ塩基融合型配位子とその金属錯体の合成. 2009 日本化学会西日本大会, 2009, 11, 松山. (#1P010)
- 9) 池上崇久, 狩野和弘, 木村裕子, 杉森 保, 吉岡大輔, 御厨正博, 半田 真: ホルムアミジンとフェロセンカルボン酸を分子内架橋配位子に用いたルテニウム (II, III) 二核錯体の合成と性質. 2009 日本化学会西日本大会, 2009, 11, 松山. (#1C14)
- 10) 池田 浩, 狩野佑介, 落合鋼志郎, 高橋康丈, 水野一彦: 光誘起電子移動による TME 型ビラジカルおよびラジカルカチオン中間体の発生と時間分解過渡吸収スペクトルの解析. 人と未来をむすぶ世界の化学@関西~若き研究者のための化学フロンティア公開シンポジウム~, 2009, 1, 堺. (#P-17)
- 11) 池田 浩, 狩野佑介, 落合鋼志郎, 高橋康丈, 水野一彦: テトラメチレンエタン型中間体の時間分解過渡吸収の観測と密度汎関数法による評価. 日本化学会第 89 春季年会, 2009, 3, 船橋. (#3E6-33)
- 12) 角田広子, 桐原正之, 高橋康丈: 超原子価ヨウ素化合物による分子内アミノ環化反応と生理活性物質の改良合成. 日本薬学会第 129 年会, 2009, 3, 京都. (28P-am165)
- 13) 中野 琢, 角田広子, 篠田裕之: 水溶性ヘム (FeTMPyP) と MBTH の系における酸素分子活性化と活性酸素種の反応. 日本薬学会第 129 年会, 2009, 3, 京都. (27Q-am154)
- 14) 中野 琢, 角田広子, 篠田裕之: 水溶性ヘミンによる酸素分子活性化と二酸素添加反応: FeTMPyP/MBTH/O₂ 系におけるペルオキシヘミン (Fe(III)-OO \cdot) の役割 (2O-03). 第 42 回酸化反応討論会, 2009, 11, 仙台.
- 15) 角田広子, 桐原正之, 高橋康丈: 超原子価ヨウ素化合物による分子内アミノ環化反応と生理活性物質類の合成 (2P-27). 第 35 回反応と合成の進歩シンポジウム, 2009, 11, 金沢.